

社会資本総合整備計画

計画の名称	大野市における人にやさしい道路環境の創出と災害に強い安全で安心なまちづくり (防災・安全)			
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)			
交付団体	大野市			
計画の目標	<p>災害時の円滑な避難ルートを確保し安全で安心な社会基盤を確立するため、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。これに基づく橋梁管理を行うことにより、事後的な橋梁補修から予防保全型の橋梁管理にシフトし、計画的かつ経済的な橋梁管理を実施する。子どもや高齢者等が安全にかつ安心して利用できる歩行空間を確保するとともに、交通事故を減少させるため、歩道や照明等の施設整備を行い、交通安全や生活環境の向上を図るとともに、誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりを推進する。自転車の需要が高まる中、自転車道の整備やそれに伴う利用者への交通安全啓発を行い、交通事故の減少を図る。</p>			
計画の成果目標(定量的指標)	当初現況値 (H25当初)	最終目標値 (H30末)		
大野市内の交通事故件数をH20～H24平均の約676件から約10%減少させ、600件以下にする。	0%	—10%		
長寿命化修繕計画に基づき橋梁補修を行う。	25%	88%		
交通安全の観点から、交通弱者支援として通学路の整備を行う。	0m	1,000m		
主な交付対象事業				
事業名	事業箇所	事業内容	実施箇所	事業主体
基幹事業 (道路)	(1) 友兼蔵生線他16路線 (1) 中挾美里線他21路線 (他) 下中野庄林線 等	橋梁補修 18橋 自転車レーン整備 L=16km 道路拡幅 L=680m	大野市 大野市 大野市	大野市 大野市 大野市
関連社会資本整備事業	—	—	—	—
効果促進事業	防災震災対策事業	耐震性貯水槽 N=12箇所	大野市	大野市

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 16大野市における人にやさしい道路環境の創出と災害に強い安全で安心なまちづくり(防災・安全)

事業主体名 : 大野市

チェック欄

I.目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の課題との適合性	
1)地域の課題と整備計画の目標が適合している。	○
2)整備計画による活動により目標達成の可能性が高い。	○
II.計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)ハードとソフトの連携等を図り事業の効率性が確保されている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
⑥地元の機運	
1)整備計画活動に対する地元の機運がある。	○

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	165	263	109	120	74
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	165	263	109	120	74
前年度からの繰越額 (d)	0	13	19	0	39
支払済額 (e)	152	257	128	81	60
翌年度繰越額 (f)	13	19	0	39	53
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	4	5
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率(h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	4.4%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。